



「いしかわ観光特使」活動報告書

氏名	出家 哲男
職業等	個人事業主

年2回、各地の歴史や文化を学ぶことを通じて、心の健康維持法を探っていこうという4名からなる「ADMY研修会」なるものを開催いたしております。メンバーは、東京在住2名、神戸在住1名、と私です。第一回は一昨年になりますが、松本清張のゼロの焦点を検証する目的で開催いたしました。今回は二度目の北陸となりましたが、1月21日から23日にかけて、「北陸冬の味覚



と寺社巡り」を目的に開催いたしました。北陸のブリと焼きカキを食することが第一の目的でありましたが、神戸在住のメンバーよりの要望により「高岡大仏」と瑞龍寺の拝観を組み入れた関係で、富山県からのスタートとなりました。

石川県におきましては、まず県立七尾美術館へ長谷川等伯を知ろうということで訪れました。加えて佐々木泉景親子の作品にも触れることができ感激。その後、

穴水「かき浜」での食事、翌日は雪に見舞われた輪島の朝市、厳しい冷え込みの中での門前「総持寺」への参拝、金沢では以外と雪が少なく、昼食に絶妙な「そば」を味わい、雪の兼六園(残念ながら樹木に雪はかかっていませんでしたが)雪つりの絶景金沢城公園をめぐり、湯涌温泉近くの浅野川温泉では380円と言う安さでかけ流しの湯につかり一休み。最後には列車時間まで2時間強に渡り金沢駅舎内での晚餐。県内各施設で受けた対応もよく、街かどで見る、路傍の小さな木にさえ雪つりがしてあったことや、都会の銭湯より低料金で提供されている温泉など、すべてに満足をされて、百万石の自信を感じるというコメントを残して皆さんお帰りになりました。

旅ばすぽーとの恩恵にも皆さん感謝いたしておりました。



2月19日 大阪より友人3名を招く

金沢城公園、兼六園、成巽閣、卯辰山、東茶屋街を案内。

石川門、菱櫓、雪つり、内橋亭での喫茶、兼六の意味、成巽閣では前田家の文化、卯辰山の碑文、茶屋街の建物、金箔製品などに興味を示した。

夕食は片町の小料理屋で加能ガニ、のどぐろ、めばる、がすえび、たらのこつけ、このわた、金時草、などで舌鼓。地酒の冷酒、ヌルかんも、又お店のサービスも含めてすべてに満足を与えることができた。

2月20日

7時30分金沢出発で輪島朝市、漆器会館を見物後、千里浜ドライブ、近江町見物買い物、百番街で石川県のお菓子をお土産に買いこみ、16時の列車に送る。

朝市の盛況、輪島漆器の絢爛豪華、千里浜の他にない自然、近江町の豊富で新鮮な食材、加賀菓子所に驚き、再来を約束してのご帰還でありました。